

その音楽は、花火のように煌めく。

クアルテット・インダコ

QUARTETTO INDACO

FROM ITALY

クアルテット・インダコは、今日、同世代のイタリアの弦楽四重奏団の中でも特に注目を集めるアンサンブルであるとみなされている。フイエーゾレ音楽院とハンノフラー音楽演劇大学（オリバー・ザイルの指導のもと、室内楽の修士号を取得）を卒業後、キジアーナ音楽院でギエンター・ビヒラーのマスタークラスを受講。2017年にスコッタイーズ賞、フレミオ・バオロ・ホルチアーニコンクールでフアイナリスト選出、マッハワタン国際コンクールゴールドメダルなど数々の国際的な賞や奨学金を獲得している。“コッパバタなアンサンブルで、エナメル質と高揚感で満ちている”と表現され、クアルテットは、Brilliant Classics、Ema Vinci、ミラノの Sconfinate などに録音を残している。イタリアの著名な音楽祭や機関に招聘され、ヨーロッパ各地や海外でも定期的に演奏している。



Ida Di Vita, violin
「アイオリ」
イダディヴィタ

Jiaming Santi, viola
「ヤイオリ」
ジヤミンサント

Elenora Matsumo, Violin
「エレオノラ・マツモ」
「アイオリ」

Cosimo Carovani, cello
「コジモ・カロヴァニ」
「チロ」

INTERVIEW

完璧を目指すのではなく、詩人として音楽の美を追求する

私たちが音楽を演奏するときに気を付けているのは、良い演奏をするというだけでなく、音楽の中で対話をする、ということです。どうしてクラシック音楽が200年、300年と続いて今このように存在しているのか。もちろん、音楽そのものの美しさもあると思います。それ以外にも、新しく出会う人々との交流、意思疎通を行うことで、音楽が変化して来ている。室内楽、そして弦楽四重奏は、人間味あふれる4人の対話、意思疎通が重要なのです。

そして私たちがすべきことは、完璧なことを目指す、がらがらに固めた何かを提供するのではなく、柔軟的であり詩人として音楽の美を提示していくことであると考えています。

インダコとはすべてを統べる色

インダコとは、インディゴ＝藍色です。すべての色を統合したのがインディゴカラーです。音楽にも様々な“色”がありますが、様々なものを混ぜたもの、という意味をあらわす言葉として「インダコ」を付けました。



チケット取扱い

◆海老名市文化会館

TEL 046-232-3231 (10:00～17:30)

オンラインでもご購入いただけます。(要事前登録、午前3～4時を除く終日)
詳しくは、ウェブページをご覧ください。

アクセス

海老名市文化会館

〒243-0438 海老名市めぐみ町6番1号

☎ 046-232-3231 (10:00～17:30)

プレイガイド

チケットぴあ【Pコード: 247-247】<https://l.pia.jp/>

【発券・直接購入:セブンイレブン・マルチコピー機

発券のみ:ファミリーマート Famiポート）



ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください！